

## 奇門遁甲の陰遁・陽遁の根拠について

命理学及び奇門遁甲を勉強中の方から、年月盤は陰遁のみ、日時盤には陰遁・陽遁があるのは如何なる根拠によるものか質問されました。

### 1) 時間空間及び陰陽五行

命理学が時空中に生存する人間に関わる、時間を主とする現象を扱うのに対し、奇門遁甲は空間的方位現象を主題にして考究されています。命理学など東洋の運命学は、時間という必然的天地自然の運行(太陽と地球の運行)の循環律・理法を判断の基礎基盤とする共通的要素を持っています。

太陽と地球の運行とは、地球が地軸を 23.4 度傾斜したままで左回りに自転しながら太陽の周りを同じく左回りに公転していることから、北半球の温帯域には春夏秋冬の四季が巡ると共に約 365 日に亘る昼夜交替が繰り返されるのです。

「陰陽五行」は、この太陽と地球の運行・循環に由来する天地自然の摂理を象徴化したものです。

命理学や奇門遁甲の基盤でもある「陰陽五行」について、中国の近代の命理家徐樂吾氏は、『造化元鑰』（徐樂吾氏評註）の「五行総論」中に次の如く明快に説いています。

《五行とは、春夏秋冬の気候のことです。天地の間に行きわたり、循環して絶えることがない故に行と謂うのです。

- ・北方は陰の極で寒を生じ、寒は水を生じる、
- ・南方は陽の極で熱を生じ、熱は火を生じる、
- ・東方は陽を散泄（さんせつ）して風を生じ、風は木を生じる、
- ・西方は陰にして収まり止まって燥を生じ、燥は金を生じる。
- ・中央は陰陽が交わって温を生じ、温は土を生じる。

五行は四季春夏秋冬の気候を表わし方位に配するは天然自然から出たのです。

- ・北方は亥子丑で冬季、
- ・南方は巳午未で夏季、
- ・東方は寅卯辰で春季、また、
- ・西方は申酉戌で秋季に当たります。
- ・土には専位がなく、中央に居て、四隅に寄せます。四隅とは、艮（丑寅）、巽（辰巳）、坤（未申）、乾（戌亥）のことで四季が交脱する時期です。》

これら陰陽五行論は、地球を俯瞰すれば、春夏秋冬の四季がある北半球温帯域における論説であることが分ります。四季のない「高緯度寒帯域」及び「低緯度熱帯域」は含めていないのです。

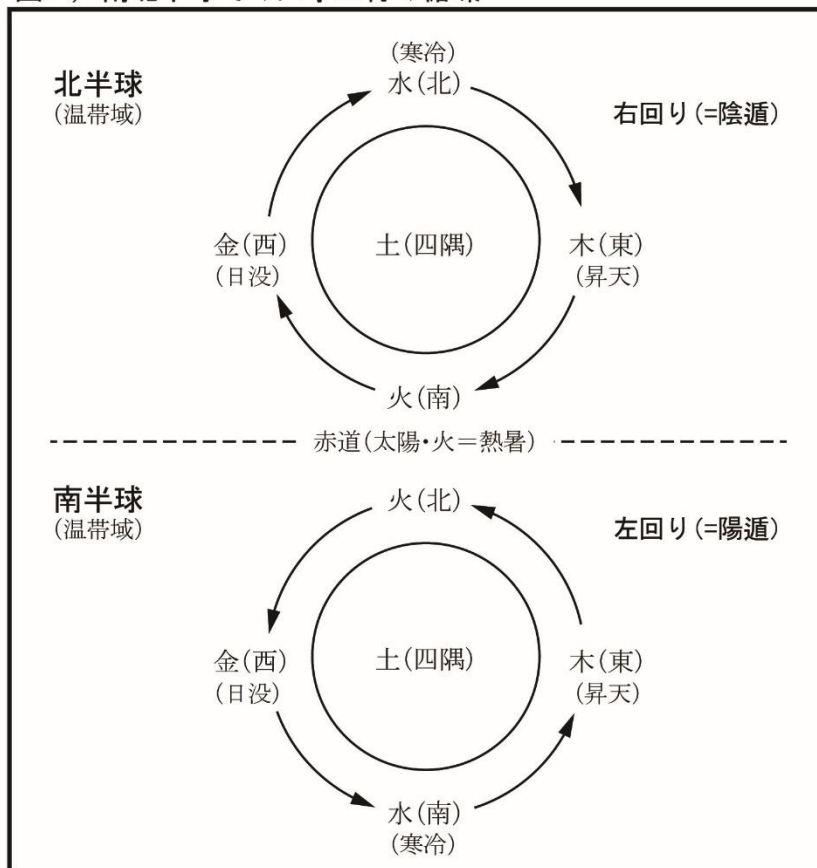
以上の徐樂吾氏の論を理会しやすいよう取り纏めますと、次に掲げる図の如くなるものです。



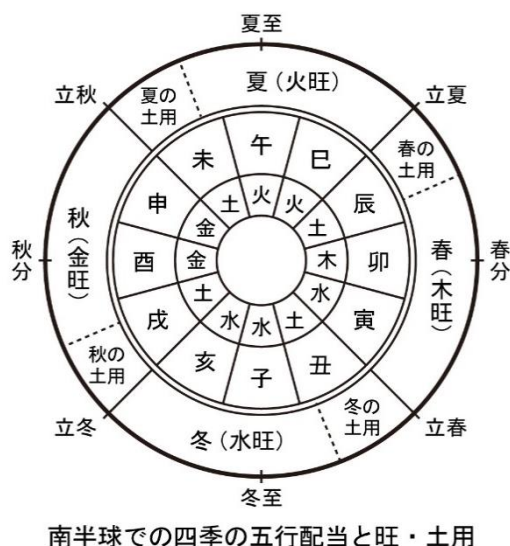
## 2) 南北半球での四季・五行の循環と陰遁・陽遁

地球は、赤道を境にして南半球/北半球に二分できます。赤道とは、地球の中心を通り、地球の自転軸と垂直な平面(赤道面)が地球表面と交わる線を云い、緯度を測る際の基準(=緯度零度)になります。

図-A) 南北半球での四季五行の循環



北半球での春夏秋冬の四季・五行(=木火土金水)の循環は、上掲の図-Aに示す通り右回りになっていますが、南半球では太陽光が北から照射し四季・五行の巡りは北半球と正反対になり、加えて、南北半球いずれでも太陽が東(木)の空から昇り西(金)の地平線に没することから、四季・五行は前掲の図-Aに示す如く循環するものです。南半球での二至(夏至冬至)、二分(春分秋分)、四季の五行配当と旺・土用、月(Month)等との相関関係を取り纏め図式化しますと次に掲げる如くです。



南半球での四季・節気や五行の配当は、前述した北半球のものと正反対になっています。地球が太陽の周り公転することに伴う北半球での四季五行の循環は必ず右回りの「陰遁」、南半球では必ず左回りの「陽遁」となるのです。

### 3) 日盤時盤の陰遁・陽遁

地球の自転に基づく日盤時盤は、奇門遁甲の書に「二至還郷一九宮」(「二至」とは冬至と夏至のこと)と云われる如く、天の気は冬至で陰が極まり陽に転じ、夏至からは陽が極まり陰に転じるのです。

北半球においては、太陽の纏度(てんど)から見て、冬至の南緯23.4度の南回帰線にあった太陽は北上を始め、赤道上を超えて、夏至の北緯23.4度の北回帰線まで北上した後、反転し、南下が始まります。太陽は赤道をクロスし南下を続け、冬至の南緯23.4度の南回帰線まで南下した後、反転し、また北上を開始します。この太陽と地球の公転・自転の運行によって、1太陽年中で春夏秋冬の四季が移り変わり、さらに一年約365日昼夜交替が繰り返されるのです。

北半球から見た、この太陽・地球の運行に伴う太陽纏度、二十四節気、水火調候、月 (Month) の相関関係は次の如く図表化できます。

太陽纏度/二十四節気及び調候の相関関係

北緯 23.4°	調候	月	二十四節気	月	調候	北緯 23.4°
↑	調候・水	午月	夏至(北回帰線)	午月	調候・水	↓
		巳月	芒種 小暑	未月		
↑	調候不要	辰月	小満 大暑	申月	調候不要	↓
		卯月	立夏 立秋	酉月		
↑	調候・火	寅月	穀雨 処暑	戌月	調候・火	↓
		丑月	清明 白露	亥月		
↑	調候・火	子月	春分 秋分	子月	調候・火	↓
		子月	啓蟄 寒露	子月		
↑	調候・火	子月	雨水 霜降	子月	調候・火	↓
		子月	立春 立冬	子月		
↑	調候・火	子月	大寒 小雪	子月	調候・火	↓
		子月	小寒 大雪	子月		
赤道						赤道
南緯 23.4°			冬至(南回帰線)	子月		南緯 23.4°

北半球での奇門遁甲の日盤時盤は、冬至から夏至までは火(陽の気)の勢いが次第に強まることから陽遁とし、夏至から冬至までは水(陰の気)の勢いが次第に強まることから陰遁となるのです。なお南半球では、二十四節気などが北半球と正反対になるため、陰遁・陽遁も同じく北半球とは正反対になります。

《平成 31 年 (2019 年) 2 月 23 日 作成》